

看護しずおか

KANGO SHIZUOKA

東日本大震災 Part.3 ーがんばれ!日本ー

会員数……18,081名

保健師……515名

助産師……684名

看護師……15,781名

准看護師……1,101名

(平成23年9月6日現在)



病院の屋上花壇で



社団法人 静岡県看護協会



ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

静岡県看護協会

検索

大震災(という経験)に応えるには



会長 佐藤 登美

会員の皆さま、こんにちは。

相変わらずの猛暑のなか、お盆がやってきて過ぎて行きました。この時期には、恒例の全国戦没者追悼式を始め、各種の慰霊式典があちこちで行われます。そこで今年は、3月東日本大震災によって亡くなられた人々への哀悼と慰霊も加わりました。全くの無信心である私のような者でも、「黙祷」と言われ、頭を垂れる時、余りにも凄まじかった被災の光景を思い出し、亡くなった方々への哀悼の気持ちが自然に湧いてきます。こうした哀悼や慰霊の気持ちは死者に向けられるのですが、それ以上におそらく、生きている私(生者)のために必要なのだと思います。しかし、5ヶ月経った現在、まだ行方不明者が5千人いると伝えられます。この関係者へはどんな慰めがあるでしょうか。生者である私たちに、出来ることはどんな支援でしょうか。

スウェーデンでの研修時、訪問看護者(エキスパート・ナース)が大切にしているのは、亡くなった後の家族への支援だと言っていました。必要に応じて、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月…と支援を継続するそうです。日本では8月、一斉に、広島・長崎の「原爆の日」や「終戦記念日」など、死者に手向けられる整えられた哀悼や慰霊が分かりに執り行われます。灯籠も沢山流されました。こうした儀式(方法)も、決して要らないなどとは申しませんが、出来れば、大切な家族を失った方々に向けて、仮設住宅(住む場所)や就業の斡旋と同時に、“こころ”に関するケア支援を十分に施行してほしいと考えます。しかし、そうするには、“こころ”に関するケアが出来る看護者の用意がなければ始まりません。日本看護協会は、去る7月22日、来年度予算で“被災地等の行政保健師の増員”等の要望を厚生労働省に出したそうですが、これは時宜を得た提案だと思います。しかしこれだけでなく、今回の大災害への協会としての取り組みを振り返り、総括し、この貴重な経験を活かした具体的な対策を“組織”として企画し、講じるべきです。

同じ意味合いから、日本はこれまで、医療と言えば、急性期の治療中心、病院という施設収容型のサービスに力を入れてきましたが、今後は増える高齢者特性を十分に考慮した慢性期(維持期・回復期)などに、必要なサービス体制づくりの方向へと速やかに転換を図るべきだと考えます。このなかにも、当然災害(緊急)時の対応も含まれましょう。日本看護協会は、早速に検討していただきたいと思います。

それからもう一つ、私たちは大震災や原発事故など現状に生じている出来事(事象)をしっかりと見つめ、今までの生活のあり方を「これでよいか」と総点検(問い直)し、出来るだけ深く考えてみる必要があるように思います。豊かさや便利さも、それなりの代価を払ってきたのです。これからも同じです。そういう点で、もし疑問や疑念があるときには、もう先送りしない徹底した吟味や追求の姿勢が必要でしょう。猛暑の最中ですが、皆さんはどう考えますか。

さて、第59回通常総会では「静岡県看護協会公益法人化の基本理念(案)」をご承諾いただきましたので、執行部では公益法人化の申請への具体的準備を進めております。その状況は、「看護しずおか」に掲載致しますので、必ず目を通して下さるようお願いいたします。それから今年も、来年度の予算を計上する時期になりました。関係者は、委員会や支部での事業計画を検討し、予算計上をお願いいたします。

(平成23年8月18日 記)

新公益社団法人移行に向けての進捗状況

「新たな公益社団法人の基本理念(案)」については、平成23年6月総会で承認いただきました。現在、平成24年9月頃の申請に向け、定款及び定款細則の変更案や新定款にあわせた事業分類等を、地区理事を含む新公益社団法人移行検討プロジェクト拡大会議を開催し、検討を重ねてきました。

定款案等の検討に当たっては、一般社団・財団法人法に適合するよう随時、静岡県や日本看護協会に相談・指導を受けながら進めております。

今後の予定は、静岡県看護協会の憲法ともいえる定款については、日本看護協会のモデル定款を基に当会の実情に即して作成し、第1次案として9月理事会への協議を準備しております。

会員の皆様には、10月に開催する第2回医療・福祉施設等看護代表者会議において報告し、「看護しずおか」11月発行号に掲載しご意見をいただき、平成24年2月24日(金)開催の第60回総会に提案する予定であります。

新公益社団法人移行検討プロジェクト

静岡県看護協会役員立候補の届出(募集)について

静岡県看護協定会款・細則に基づいて、平成24年度改選役員の公募を行います。

また、補欠選挙は、現会長から平成24年3月末をもって退任の意思表示がありましたので、残任期間の会長を公募します。

平成25年度からの新公益法人の会長選挙は、移行認定申請にあたり新公益法人の代表理事(定款で会長が代表理事となる)を決める必要があるため、今回、公募します。

公募役員	平成24年度改選	副会長1名、専務理事1名、常務理事1名 助産師職能理事1名、病院看護師職能理事1名、 地区理事3名〈東部・中・西部の各理事〉、全区理事1名
	平成24年度補欠選挙	会長1名
	平成25年度公益社団法人会長選挙	会長(代表理事)1名
立候補の届出	役員に立候補する方は、細則第12条の規定により正会員5人以上の推薦を受けて届出てください。	
届出の方法	立候補届け出用紙に記入の上、下記宛先へ郵送してください。用紙は推薦委員長または事務局に請求するか、静岡県看護協会ホームページ【お知らせ】情報からダウンロードしてください。	
宛先 お問合せ	社団法人静岡県看護協会 総務部 〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ3階 電話 054-202-1750	
締切日	平成23年10月25日(火)必着	

なお、公益社団法人の会長は、停止条件付(公益法人の設立登記を行った日から就任)の選任となります。

東日本大震災 Part.3

— がんばれ!日本 —

静岡県総合防災訓練

8月28日、静岡県と島田市をはじめとする2市2町で総合防災訓練が行われました。

3月11日に発生した東日本大震災は、太平洋に面している地域であったため「津波」による大きな打撃を受けました。その中でも、「福島原発問題」は日本国内のみならず世界的問題となっています。

私達が暮らしている静岡県内も太平洋に接していることや、原発を所有していることなど、東日本大震災被災地との類似点が多くあります。「もし、東海地震が起きたら・・・!」そんな気持ちで取り組んだ防災訓練をレポートします。

災害拠点
エリア

広域医療搬送訓練に参加して

特定医療法人沖縄徳洲会 榛原総合病院 大石 みどり

8月最後の日曜日、青く澄み渡る空のもと、東日本大震災後初の大規模な総合防災訓練が、「大井川流域の協力・連携～減災への新たな出発」をメインテーマに行われました。駿河湾から遠州灘を震源域とするM8の地震が突発的に発生した事を想定し、島田市など4市町が主会場となり、暑い中大勢の市民が参加され、防災に対する意識の高まりを感じました。

訓練まで全体会議が数回あり、各市町村別・分科会別の会議と現地視察も行われました。当初予定していた小学校でのトリアージ訓練以外にも、新たに広域医療搬送なども追加され、幅広い訓練内容になっていきました。

私が参加した大井川緑地ではヘリポートが設けられ、広域に被害が広がったと想定し、ヘリコプターで救急患者を搬送する広域医療搬送訓練などが行われました。仮定の災害拠点病院を設定し、クラッシュ症候群や骨盤骨折の患者にDMATと一緒に医療処置を行い、ヘリコプターで静岡空港まで搬送する訓練でした。

災害看護は、刻々と変化する状況の中で、被災者に必要とされる医療および看護の専門知識を提供することです。今後も病院・地域での取り組みに積極的に参加し、減災のために努力していこうと思います。



避難エリア

島田第二小学校で行われた災害支援ナースによる救護所トリアージ訓練



支援エリア

島田市総合スポーツセンターサブアリーナで行われた災害支援ナースによる遺体処理訓練



川根本町



島田市

避難エリア

支援エリア

災害対策
本部エリア

災害拠点
エリア

吉田町



牧之原市

市立御前崎
総合病院

御前崎市

浜岡原子力
発電所



緊急時被ばく医療訓練

市立御前崎総合病院 増田 とみゑ

当院は、中部電力浜岡原子力発電所から直線で3km余離れた小高い丘にあります。中部電力浜岡原子力発電所が立地している市の市立病院として、初期被ばく医療機関としての役割があります。初期被ばく医療機関とは、原発内の事故で被ばくまたはその可能性のある患者の外来診療を担うことです。そのため、毎年、通常の災害対策訓練とは別に、中部電力浜岡原子力発電所と協力して「緊急被ばく医療訓練」を行います。訓練内容としては、机上教育と実技訓練を全職員対象に行います。

机上教育は、放射線医療の専門医や発電所内の産業医などの講義を受けます。実技訓練は、発電所内の事故を想定したシナリオをもとに、受け入れ準備や除染活動と治療、その後の片づけ方法などを行います。通常の緊急対応とはまったく異なる対応の訓練となります。

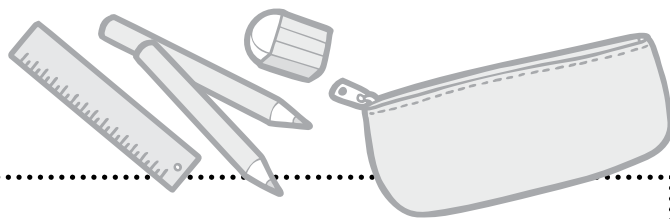
現在、浜岡原子力発電所は稼働を停止していますが、災害時の危険性はゼロではありません。

今年度も9月16日(金)に訓練を予定しています。



被ばく受傷者の除染と治療訓練

教育研修部だよ！



新入会員研修「受講生のつぶやき」

7月・8月に新入会員(219人)の研修を中部、西部で実施した。協会、看護連盟そしてナースセンターの組織について紹介し、4名の先輩看護師(富士市立中央病院、菊川市立病院、県立こども病院、掛川市立総合病院)から、入職当時のこと、新入会員への期待や困ったときの対処方法などメッセージをいただき、グループワークを行いました。(遠山記)



今の悩み

- ・業務をこなすことで精一杯
(同期と比べ、仕事が遅く自己嫌悪に陥る)
- ・勤務体制による睡眠障害、体調不良など
- ・理想や学生時代のイメージと現実のギャップ
- ・先輩に聞きづらい・・・
- ・声掛けを上手にできない
- ・ON,OFFの切り替えが下手
- ・患者さんとの関わりが難しい etc

- 完璧に見えた先輩も新人の頃同じ悩みを抱えながら成長されたと分かり、自分も努力したいと思った。
- みんな同じような悩みを抱えていたことが分かり安心した。
- 今を乗り越えることで看護師としての「仕事のやりがい」を感じられると分かった。
- 1年目は大変だけど、くじけずに頑張りたい。 ● 他の病院の看護職と話せて刺激をもらった。
- 自分のマイナス面にばかり目がいくが、プラス面を大切に必要性に気付いた。
- 自分を見つめ直すきっかけになった。リフレッシュできた。 ● 挨拶・報告・連絡・相談をしっかりとしたい。

【受講者のアンケートより】

「静岡県看護教員養成講習会」始まる！

平成23年6月13日、「静岡県看護教員養成講習会」が開講し、2カ月が経過しました。受講生は、静岡県内の看護学校や病院に勤務している女性30名です。

この講習会の目的は、『国民の保健医療に関するニーズは、多様化し複雑である。看護職員には、国民のニーズに的確に答えられる能力が求められ、そのためには、資質の高い看護職員養成のための教員が必要になる。そこで、「高度な資質」をもつ看護の教育者を育成し、静岡県の看護教育の充実強化を図り、資質の向上に貢献する。』です。

講習会期間は、約8カ月間(855時間・34単位)です。グループで話し合い、発表することが多く、10月には看護教育実習が企画されて、看護学校で授業や臨地実習指導を行います。受講生の多くから「先の事を考えると大変だけど、今のグループワークは楽しい。」という声が聞かれます。

受講生が、講習会の全課程を無事に終了できますように、担当者として応援していきたいと思います。(山本記)



募集
します!!

➡「看護しずおか」表紙

看護しずおかの表紙を飾る写真を募集します。
テーマ:看護のある風景(家族など看護職でなくても結構です。)

➡読者の広場

皆さんに知らせたい、また知ってもらいたい「活動」や「意見」など何でも結構です。写真などもご自由に投稿してください。

皆さん、どしどし応募下さい。お待ちしております♥

詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.shizuoka-na.jp/>



広報委員会



平成22年度静岡県内病院に勤務する看護職員の退職状況調査結果が出ました。

一県内病院の看護代表者から回答をいただきました。お忙しいところご協力ありがとうございましたー
配布数:185病院 回答数:137病院 回収率74.1%(21年度の回収率69.7%)

<看護職員数動向>

看護職員	H22・4・1現在			H23・3・31現在			H22・12月看護職員等(病院勤務)業務従事届(参考)
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	
総数	16,867	2,505	19,372	16,521	2,625	19,146	21,257

年度内入・退職者数	入職者数		退職者数	
	H21(回答病院129)	H22(回答病院137)	H21(回答病院129)	H22(回答病院137)
新卒者	953	1,060	76	84
既卒者(1年以内の退職)	1,052	1,031	1,571(150)	1,449(155)
合計	2,005	2,091	1,647	1,533

<看護職員等離職率> 正規看護職員離職率は前年度と比較して1.3ポイント減少しました。

正規看護職員 離職率			うち入職1年以内看護職員離職率						早期離職率		
			新卒			既卒					
H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22
11.3%	11.5%	10.2%	7.4%	8.0%	7.9%	14.8%	14.3%	15.0%	14.4%	13.7%	15.6%

(日本看護協会が用いている離職率の定義と算出式による)

<退職理由>

新卒者 1位 健康上の問題(精神面) 37% 2位 適正・能力への不安 23% で全体の60%を占めていました。
既卒者 1位 他の職場への興味(看護) 15% 2位 結婚(転居) 10% 3位 健康上の問題 7%

<平成22年度離職防止対策で特に効果のあったもの>

1位 多様な勤務形態の導入 2位 子育て支援策の充実 3位 教育研修体制の充実 で前年度と同様でした。

報告

(1) 高校生1日ナース

- ・各施設のご協力により、無事終了しました。
- ・約2,000人の高校生の応募がありましたが、人数調整の結果、約1,500人の高校生が1日ナース体験をしました。希望者は年々増加しています。皆さん、看護職を目指してくると良いですね。

(2) 看護学校等進路説明・相談会

6月11日(土)東部会場、18日(土)中部会場、25日(土)西部会場で実施しました。

参加総数1,123人: 高校生679人 社会人86人 保護者・教師358人

高校生1日ナースと同様、参加者が多く会場は大混雑でした。嬉しい悲鳴でした。



初めて赤ちゃんを抱きました



ストレッチャーに乗り患者体験

求人求職情報

平成23年度 静岡県の求人・求職登録状況(6月末) (人)

	保	助	看	准	計
有効求人数	28	35	2,048	112	2,223
有効求職者数	92	12	512	55	671
就職者数	9	2	177	10	198

未就業の看護職の方にナースセンターの登録を勧めてください。

静岡県ナースセンター連絡先

本 所 TEL 054-202-1761
FAX 054-202-1762

東部支所 TEL/FAX 055-920-2088
西部支所 TEL/FAX 053-454-4335

求人・求職の相談がメールでできます!

eナースセンター
<http://www.nurse-center.net>
(類似のサイトにご注意ください)

助産師職能 研修会

日 時：10月29日(土)9:30～16:30
場 所：静岡県産業会館(静岡赤十字病院並び)7F会議室
テ ー マ：「専門職としての技術を身につけよう」
 ～助産外来に必要な超音波断層装置の操作方法～
内 容：超音波断層の基礎知識 妊婦健診で確認すべき計測、項目の講義
 超音波断層装置の操作(モデル人形を使って実技演習)

講 師：市川義一 医師(静岡赤十字病院 産婦人科)
対 象：看護協会会員 助産師 40名
受 講 料：4,000円
申込期限：10月13日(木)
申込方法：FAX(054-202-1751)又は静岡県看護協会ホームページ
問い合わせ：総務部054-202-1750

「いいお産の日」

日 時：11月10日(木)10:00～14:00
場 所：あざれあ 2F大会議室
テ ー マ：「お産する人とそれを支える人が共に妊娠、出産、育児を考える」
内 容：「お産にむけてのフィジカルセルフケア」
 講師 佐藤めぐみ先生(NPO法人母子整体研究会 法人理事)

内 容：「やさしいマタニティヨガ」
 講師 東出由美子先生(焼津市立総合病院助産師)
問い合わせ：総務部054-202-1750

保健指導ミーティング

日 時：11月19日(土)10:00～16:00
場 所：看護協会 第1研修室
テ ー マ：「CKDの事例を通して保健指導を考える」
 ～住民が主体的に考え行動するために～
対 象：保健師 定員 60名

受 講 料：資料代100円程度
申込期限：10月31日(月)
申込方法：FAX(054-202-1751)又は静岡県看護協会ホームページ
問い合わせ：総務部054-202-1750

医療・安全情報 平成23年度～第3弾～

社会経済福祉委員会

ナースってすごい! 感情労働のプロ～医療安全と感情労働～

6月に開催されたメンタルヘルスの講演会は大変好評でした。今回はその内容を深めてみたいと思います。
 みなさんは「感情労働」という言葉を知っていますか? 2003年にホックシールドという人が「なごやかな安心できる場所
 所でケアされているという感覚を他者に生じさせるように、自分の外見を保つために感情を出したり、抑えたりすること」と概念を提唱しています。

患者さまを気遣ったり、
 励ましたり、不安を受け止める..
 といった感情労働



看護計画を立てたり、
 診療の補助をする頭脳労働

看護は、肉体労働と頭脳労働をしていますが、それに加えて**感情労働**を常に行う専門職といえます。

例えば、ガーゼ交換をしながら患者さまが離床に前向きになれるように話しかける、採血をしながら患者さまの緊張をほぐすような言葉をかけるといったことを、みなさんは毎日していませんか。私たち自身が緊張する場面で、相手を気遣う言葉をかけ、しかも事故をおこさないことが求められています。

頭脳労働と感情労働..
 二つを同時に行うのは事故の原因



患者さまに声をかけて、
 今から行う医療行為への協力を得る、
 などの環境づくりが大切

ご支援ありがとうございます

■賛助会員・・・10(法人・団体)

●株式会社 坂本モデル ●協和医科器械株式会社 ●SMC商事株式会社 名古屋支店 ●医療法人社団駿甲会 コミュニティケア吉田
 ●東洋羽毛東海販売株式会社 静岡営業所 ●株式会社静岡新聞社 ●静岡放送株式会社 ●公立森町病院
 ●株式会社トータル保険サービス 横浜支社 ●株式会社ガリバー静岡店

■賛助会員・・・1(個人)